



志木四小だより

学校教育目標

○よく考える子 ○思いやりのある子 ○やりぬく子 ○元気な子

志木市立志木第四小学校
令和元年度 No 5
令和元年7月19日
志木市館1丁目4番1号
Tel 048 - 474 - 7911
児童数7月19日現在418名



「大人の自転車運転に ひとつこと」

校長 可知 良之

毎朝校門前で子供たちを出迎えていて、子供たちの笑顔は素敵だなと感じています。その一方で毎日のように感じた危険。

『大人が運転する自転車が危ない』
交通ルール、マナーに関しては子供たちのお手本とは言い難い有り様で、実に残念に感じます。

本校では毎年夏休みに入る直前、低学年高学年2日に分けて、自転車安全教室（朝会）を行っています。今年も7月11日12日に実施しました。安全部の主任が指導者となり映像を見ながら事故に遭わないようにするためのポイントを詳しく学びます。ポイントは大きく3つです。

- ①自転車は左側を走る。②飛び出さない。
- ③危険な運転をしない。

たったこれだけと思うかもしれませんが、事故が起きる原因はこの3つにつきます。

自転車が左側を走ることは当たり前ですが意外と守られていません。車を運転していると、右へ左へと突然道路を横断する自転車に肝を冷やすことがあります。小学生の自転車事故で最も多いのが飛び出しです。いつでも一時停止を必ず行う習慣を身に付けておくことが大事です。危険な運転には、傘さし運転、並走運転、歩道でのスピードを出しての運転など数えればきりが無いほどたくさんあります。危険という認識はないのかもしれませんが。

この3つがきちんと守られていれば自転車事故は激減するだろうと思います。しかし、6月中に北門前で私が目撃したショッキングな光景のいくつかを紹介します。

- 車道の右側を走って行く自転車
- 赤信号を無視して、横断している児童の

間をすり抜けていく自転車

- 小雨の中、傘を差して走って行く自転車
- 児童が通っている歩道を猛スピードで走る自転車

どれもこれも大人の方の運転です。しかも、一歩間違えれば子供を巻き込む大きな事故になる危険な運転です。もちろん道路交通法に触れる恐れもあります。

安全教室では締めくくりに、全国で交通事故が1分間で1件の割合で起きているので十分気を付けるようにと話していました。子供を守るべき大人の運転する自転車で事故が起きているとするならば、何とも悲しく嘆かわしいことではないでしょうか。

明日から長い夏休みに入ります。子供たちの学習の場は、学校から地域に移ります。これからの生活に生きて働く様々な良い体験をしてほしいと思います。その際、社会のルールやマナー、安全指導なども地域やご家庭の力でぜひお願いいたします。418人の日に焼けた素晴らしい笑顔が戻ってくることを楽しみにしています。



自転車安全教室（高学年の部）